



三徳開教110年

平成30年

3月号

No.581

# 法音



今月の  
法話

“世のため、人のため”という心

日蓮宗

法音寺





# 知恩報恩

## 感謝と親切

今日一日、  
 受けた恩に感謝しましょう。  
 恩を忘れぬ人は信頼されます。  
 今日一日、  
 人に親切にしましょう。  
 人が喜び、自分もうれしい。  
 仏の教えは  
 知恩報恩の人となることです。

## 月刊・法音

平成三十年三月号「581」

■目次■

【信仰の指針】相念そうねん 思いが大事です  
 【朝のこない夜はない】  
 ♪世のため、人のため♪という心

山首 鈴木正修

- 春のお彼岸です 17
- 有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください 18
- 御開山会のお知らせ 20
- 特別企画・聖の教え（二十七） 22
- とこのはの記 法華経の信仰で「宝の山」に 36
- のりのね体験 いま・昔 40
- のりのとも 西に東に 転法輪・支院たより 44
- 福祉に生きる 特別養護老人ホーム・小原安立の実践 80
- 日本福祉大学社会福祉学部 開設60周年記念事業を実施 88
- 賛助員ご芳名 90
- 幸せの種まき／編集後記 92
- 連載まんが・ひまわり・63 誕生日プレゼント 93
- 書籍のご紹介
- 法音寺の社会福祉・教育事業

## 表紙題字・信仰の指針 山首上人さま書

表紙写真・梅の花

掲載写真

表紙・信仰の指針・3～17頁・梅田雅臣氏撮影

2頁・加納将人氏撮影

信仰の指針

そう

ねん

相念

思いが大事です

日教五



ツバキ



# 朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

# 世のため、

# 人のため、 という心

徳を貯めれば上手くいく

『クローズアップ現代』というNHKの番組で、最近の景気の良さ、世界株高が本物かどうかということが論じられていました。ヨーロッパではドイツの株が高く、アメリカは史上最高値、日本もバブル期以降最高値を更新しています。それでも物価が上がらない現在のこの状況を「適温経済」と呼ぶそうです。

番組の中では、この株高はさらに続くのかどうかで意見が分かれましたが、年はじめの経済関係の番組ではこの株価の予想というのがよくされます。私が毎週観



ている『がっちりマンデー!!』という番組では近年、二  
トリの会長さんが度々予想をあてられています。それで  
財界千里眼と呼ばれているようですが、二年程前に亡く  
なられた「タマゴボーロ」で有名な竹田製菓（現・竹田  
本社）の前会長・竹田和平さんも同番組の中で神がかり  
的によくあてておられました。

一番びっくりしたのは、リーマンショック前後の株価  
を言いあてられたことです。誰もわからなかったリーマ  
ンショックを予見していたのです。あの大騒動にも微動  
だにしなかったそうです。

そんな竹田さんも、バブル崩壊の時には予測を大きく  
外したことがあったのです。竹田さんはあの山一証券の  
個人筆頭株主でした。山一証券は皆さんもご存知のよう  
に倒産してしまいました。竹田さんは最後まで株を売ら  
ずについて大損したのです。



どうして竹田さんは大失敗し、また復活できたのか、『日本一の大投資家から教わった人生でもっとも大切なこと』という本で、竹田さんのことを読みました。この本は、本田晃一さんという方が竹田さんに弟子入りし、教えを請うという体験が書かれています。

竹田さんはお父さんから竹田製菓を継いだ二十代の頃から株式投資を始めました。なかなか最初は上手くいきませんでした。そこで、〃商売〃というのは『世のため、人のため、自分のため』だから、株式投資もその精神でやってみよう〃と思い、実践しました。すると非常に上手くいくようになったのです。しかし、上手くいくようになった時にやってきたのがバブル崩壊です。当時、山一証券の個人筆頭株主だった竹田さんは、十五億円もの損失を出してしまいました。そんな多額のお金を失ってしまったらとてもショックだったろうと思います、本田さんが竹田さんにその胸の内を聞いてみると「いや、それ程



ショックでもなかった。これはなにか天からの啓示だ  
なと思つた」と答えられたそうです。竹田さんはその後、  
所有する大企業の株をすべて売りました。それで、投資  
をやめたのかというところではありません。

「これまでは、世のため、人のため、自分のため、だつ  
たけど、この自分のためを抜くことにして、世のため、  
人のため、の二つにした。大企業の株をすべて売って、  
中小企業の株を買うことにした。私も中小企業の社長だ  
から、その会社の社長さん達の気持ちがよくわかる。資  
金繰りが大変だし、ちよつとした経済状況で会社が傾く。  
そういう社長さん達を残ったお金で応援したい。だから  
自分の欲、我欲というものを一切なしでやろうという気  
持ちであらためて投資を始めたんだ。すると、あつとい  
う間に百社の大株主になっていたんだよ」  
その後、それらの会社の社長さん達が竹田さんのどこ  
ろに指南を受けにくるようになりました。そこで竹田さ



んは、来る人が上手くいってなくても、一切責めたりしませんでした。

また、〃相手を否定しない。支配しない〃のが竹田さんの方針です。ただその会社の社会における存在意義を伝える。お客さんをどう喜ばせればよいのかを伝える。社長と会社の良い部分を徹底的にほめる。皆さん励ましてもらいたくて、またほめてもらいたくて竹田さんのところに来たのです。

竹田さんはご自分の経験から、〃徳を貯めれば投資も会社経営も上手くい〃という考え方を広められました。講演会である人が竹田さんに質問をしました。

「どういう会社に投資したら儲かりますか？」

「徳のある会社に投資したらいいね」

「徳のある会社をどうやって見抜けるんですか？」



「自分が徳を積まんとわからんわね。相手の徳は見抜けんね」

我欲に染まった人には我欲の人ばかりが集まります。徳を積んでいる人のところには徳の人が集まります。徳を積んでいると自然に、ああいう会社を応援したらいいなぐというのがわかるようになるんだと思います。

竹田さんは西郷隆盛が好きだったそうです。ある日の話です。「西郷さんはどうしてあんなにたくさんの人を惹きつけたのか。それは西郷さんに我欲がなかったからだよ。我欲がない人は真空なんだよ。孫悟空が持っているひょうたんは中が真空になっているから、蓋を開けると何でも吸い込まれてしまう。西郷さんも同じで真空だから、世のため、人のために我欲がないからみんなを吸いよせたんだよ」



西郷さんは西南戦争で賊軍、国賊として亡くなり、永くその汚名が返上されませんでした。しかし大日本帝国憲法発布の大赦で赦され、西郷さんの人柄を愛した明治天皇によって正三位を追贈され、後に旧薩摩藩士が中心となり寄付を募って、東京・上野に銅像が建てられました。

山形の庄内藩の人々も西郷さんの大ファンでした。庄内藩は戊辰戦争で最後まで幕府軍として戦い抜きました。しかし他の藩が次々に降伏したので、庄内藩もしかたなく降伏しました。その時に西郷さんは官軍の総大将でしたが「よくやった。よく忠義を尽くした」と何のおとがめもなしでした。それ以降、庄内藩の人々は西郷さんのことが大好きになり、後に遺訓集『南洲翁遺訓』を作った明治天皇に献上しました。西郷さんのことが大好きだった明治天皇は、『南洲翁遺訓』を手に入れ、目頭を熱



くして喜よろこばれたそうです。そして一言「我が西郷さいごうを再び得えたり」と仰おこしられたそうです。

## 「ありがとう」は奇跡きせきの言葉ことば

竹田たけださんに話はなしをもどします。竹田たけださんは、商売しょうばいの秘訣ひけつを人ひとから聞きかれた時に「みんなそんな簡単かんたんなことがわかんのかね。お客きやくさんを喜よろこばせればいいんだがね。商売しょうばいはお客きやくさんに本当ほんとうに喜よろこんでもらえるようにするだけだね」と言いわれています。

それは製品せいひんにもあらわれています。竹田たけだ製菓せいひんのタマゴボーロは有精卵ゆうせいらんを使つかっています。有精卵ゆうせいらんと無精卵むせいらんでは値段だんが倍程ばいばち違います。普通ふつうはお菓子かしには無精卵むせいらんを使つかうそうです。焼やいてしまえば味あじがあまりわかんないからです。ところが竹田たけださんはずっと大昔おほむかしから有精卵ゆうせいらんを使つかってきましました。その理り由ゆうを聞きかれると「天てんが見みておられるがね。



もし天が見ておられなくても、自分が知っとるがね。自分を欺くことはできんよね。嫌なものを混ぜて売ったら、自分が気持ち悪いがね」と言われています。

また竹田さんは「『ありがとう』は奇跡の言葉ですよ。成功をめざすなら、感謝の言葉『ありがとう』を習慣にしてみてくださいのが一番の近道ですよ」と言われています。

「私は一日三〇〇〇回の『ありがとう』を習慣にしたらというもの、あらゆることがいいタイミングで起こるようになりました」とも言われています。そして、人間関係に悩む人には「人をコントロールするのをやめて、みんなに感謝してみてください。すぐに悩みが解決しますよ」とも言われます。

竹田さんは幼稚園や保育園に行っ、邪気の無い子ども達に「ありがとう」をたくさん言ってもらって、それを録音してタマゴボーロに聞かせたそうです。工場ですピーカーで流したのです。タマゴボーロの中に奇跡の言



葉「ありがとう」が入って、おいしくなるだけでなく、食べた人が気分が良くなるのだそうです。

## 祈りを込める

北川八郎さんという「繁栄の法則」を説く経営コンサルタントの方がいます。北川さんの講演会は若手の社長さんであふれています。ある時、講演会にパン屋さんがやってきました。

「先生に一つお聞きしたいことがあります。一生懸命パンを作っていますが、何かもう一つ足りない気がするんです。それを教えてもらえませんか」

「どんなパンをめざしていますか」

「みんなに『おいしい』と言ってもらえるパンをめざしています」



北川さんは持参されたパンを食べてみました。

「とてもおいしいパンですね。もう一つ足すとすれば、作る時にこのパンを食べた人の心が安らぐように、癒されるように、悲しみを持っている人は悲しみがなくなるように、そういう祈りを込めてパンを作られたらどうですか」

「わかりました。良いことを聞きました」

パン屋さんは喜んで帰っていきました。

それからは、たくさん売ろうと思わないのに、どんどん売れるようになったそうです。

北川さんは陶芸家でもあります。

北川さんは、器を作る時に、「この器を手にする人に、神の恵みがありますように。病の人は、病が軽くなりますように。怒りの人は怒りの森から抜け出られますよう



に」と祈るそうです。

東京のデパートで個展をした時のことです。奥さんのために器を買った男性から苦情の電話が入りました。内容は、購入したトマトで創った釉をかけた湯呑みを、最近目を悪くしている奥さんが手に持つなり、涙を流して「この器はなんてやさしいの」と言ったというのです。それで男性は、変な器ではないかと疑って電話をしてきたということです。

岡山に「わら」という民宿があります。

その自然食料理を食べると、あらゆる病気が治ると評判で、多くの人達が次々とやって来ては治って帰って行くそうです。

その主人、船越康弘さんも言われます。

「食品の質を上げるのは作る人の想いであり、料理の質を上げるのは料理をする人の想いです。私は二十歳から



今まで四十年間、一日も欠かさず料理を始める前にいつもこう言ってきました。『天地のお恵みとこれを作られた方のご愛念を感謝して料理させていただきます。この食べ物が私達の体の中に入って、自他ともにお役に立ちますように。ありがとうございます』

この言葉によって、想いによって、「わら」の料理はおいしくなり、特別な力を持つようになります。

どんな物にも心は入ります。あらゆる仕事は、ただ物を作ったり売ったりするだけでなく、その中に善き祈り、心を込めることが大切だと思います。

竹田さんは、お客様を喜ばせよう。中小企業の社長さん達を励まそうとそれだけをやってきたら未来が見えるようになったそうです。我欲がないと人間は先が見えるようになります。我欲が強いと目の前に落とし穴があっても見えません。



脳科学者の岩崎一郎博士によりますと、人間には未来予測を司る「大脳島皮質」という脳回路があるそうです。この脳回路の活性が高い人程未来予測が確にできるそうです。この活性を高めるためには「謙虚にして驕らず、人に対していつも思いやりの気持ちをもつ」ことが大事だそうです。言うまでもなく、菩薩の心、三徳の実行が肝心ということなのです。



春のお彼岸です。

ご先祖さまに感謝の誠を捧げましょう。

法音寺本山は

三月二十一日(水・祝)午前十一時から

春季彼岸会の法要が行われます。

皆さまのご参詣をお待ちしています。

◆今月の山首上人さまご親修日程

神戸支院	3月10日(土)	四日市支院	3月13日(火)
安城支院	3月18日(日)	郡上八幡支院	3月22日(木)
岐阜支院	3月24日(土)		



# 有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください。

支院名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乘山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)53-5436
東京支院	4日・11日・24日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
山形布教所	10日	山形市長町2-4-6	☎(023)681-0770
静岡支院	2日・12日・22日	磐田市長崎4-7-13	☎(0538)32-6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)86-4704
安城支院	11日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)76-2504
明川支院	24日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0567)32-1825
佐屋支院	4日・11日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎(0586)72-7208
一宮支院	5日・15日・25日	一宮市大江1-7-4	☎(0568)22-5813
西春支院	2日・12日・22日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎(058)245-2939
岐阜支院	4日・14日・24日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)388-2740
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(0584)78-4854
大垣支院	1日・11日・21日	大垣市宝和町5	☎(0575)22-0776
関支院	3日・13日・23日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)23-3771
平賀支院	5日・15日・25日	関市市平賀2-13-2	☎(0575)65-3933
郡上八幡支院	8日・22日	郡上市八幡町小野7-21-3	☎(059)352-3633
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(0595)21-0127
上野支院	1日・11日・21日	伊賀市上野向島町3-4-75	

☎ご連絡は本山寺務局へ

京都支院	1日・9日・21日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	4日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	11日・23日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
福井布教所	17日	あわら市春宮3-28-2	☎(0776)73-5234
和泉支院	4日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(0724)66-3112
神戸支院	10日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎(0799)42-0175
岡山支院	4日・7日・21日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)262-0818
高知布教所	12日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	1日・18日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	10日・25日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)62-5087
安芸津支院	3日・18日・25日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)45-4012
坂支院	10日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	4日・15日・18日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1112	☎(0920)44-5445
筑後布教所	11日・25日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)53-7273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)58-0742
田川支院	11日・25日	田川市春日町7-30	☎(0947)42-1819
名古屋地区	7日・17日・21日・27日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	9日・19日・29日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)85-6860
亀岡布教所	12日・25日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)25-7807

※開始時刻等については、それぞれにお問い合わせください。(掲載順不同)



# 御開山会

# 平成30年 御開山会

三徳開教百十年

顕修院日達上人第七回忌

御報恩法要

三徳開教百十年・顕修院日達上人第七回忌を  
迎えるにあたり、

記念の天童音楽大法要を虔修いたします。

当日は稚児行列やバザー等を実施し、  
本堂では過去の貴重な映像をご覧いただく等、  
種々の催しを行うことが予定されております。

期日…平成30年5月13日(日)

5月20日(日)

6月3日(日)

皆さまのご参詣を心よりお待ちしております。

大乘山 法音寺

皆さんの作品を募集します

三徳開教百十年を迎え、来る御開山会の特集を  
『法音8月号・586』誌上で予定しております。  
つきましては、左記の通り特集に掲載する作品  
を募集いたします。ぜひ奮ってご応募ください。

記

- 一、 参詣された方の感想文
- 一、 稚児行列に参加された子どもさんの作文、  
または絵
- 一、 お稚児さんの保護者の方が撮影された  
お子さんの写真
- 一、 ご奉仕青年会員の感想文

☆募集方法

作品に、所属・氏名・年齢(学年)をご記入の上、  
各支院・布教所へお申し込みください。

☆申込締切

平成30年6月27日(水) 法音寺・広報委員会必着

特別企画

# 聖の教え

(二十七)

## 謗法的事

法の道謗り毀たば阿鼻獄に

入りて出づべき時なからまし

御開山上人御詠

## ◆ 經 典

◆ 會中に比丘・比丘尼・優婆塞・優婆夷、五千人等あり。即ち座より起つて佛を禮して退きぬ。所以は何ん、此の輩は罪根深重に及び増上慢にして、未だ得ざるを得たりと謂い、未だ證せざるを證せりと謂えり。此の如き失あり、是を以て住せず。

妙法蓮華經・方便品 六五頁

◆ 此の經に於ては、信を以て入ることを得たり、況んや餘の聲聞をや。其餘の聲聞も、佛語を信ずるが故に、此の經に隨順す、己が智分に非ず。又舍利弗、憍慢・懈怠、我見を計する者には、此の經を説くことなかれ。凡夫の淺識、深く五欲に著せるは、聞くとも解すること能わじ、亦爲に説くことなかれ。若し人信ぜずして、此の經を毀謗せば、則ち一切世間の、佛種を

斷せん。或は復讐覺して、疑惑を懷かん。汝當に此の人の、罪報を説くを聽くべし。若しは佛の在世、若しは滅度の後に、其れ斯の如き、經典を誹謗することあらん。經を讀誦し、書持することあらん者を見て、輕賤憎嫉して、結恨を懷かん。此の人の罪報を、汝今復聽け。其の人命終して、阿鼻獄に入らん。一劫を具足して、劫盡きなば更生れん。是の如く展轉して、無數劫に至らん。地獄より出でては、當に畜生に墮つべし。

妙法蓮華經・譬喩品 一一〇頁

◆ 若し惡人あつて不善の心を以て一劫の中に於て、現に佛前に於て常に佛を毀罵せん、其の罪尙お輕し。若し一人の惡言を以て、在家・出家の法華經を讀誦する者を毀訾せん、其の罪甚だ重し。

妙法蓮華經・法師品 二〇四頁

## ◆ 文

◆ 法華經に勝れたる經ありと云わん人は、設い如何なる人なりとも、謗法は免れじと見えて候。

報恩鈔・上 一四二二頁

◆ 信心ふかき者も法華經のかたきをば責めず。如何なる大善をつくり、法華經を千萬部讀み書き寫し、一念三千の觀道を得たる人なりとも、法華經の敵をだにも、責めざれば得道ありがた

し。

南條兵衛七郎殿御書 五三九頁

◇御文に云く、『此の經を持ち申して後、退轉なく十如・自我偈を讀み奉り、題目を唱え申し候なり。但し聖人の唱えさせ給う題目の功德と、我等が唱え申す題目の功德と、何程の多少候べきや』と云云。更に勝劣あるべからず候。其の故は愚者の持ちたる金も智者の持ちたる金も、愚者の燃せる火も智者の燃せる火も其の差別なきなり。但し此の經文の心に背きて唱えば、其の差別あるべきなり。此の經の修行に重重の品あり。其の大概を申せば、『記』の五に云く、『惡の數を明せば、今の文には説不説と云うのみ、有人此を分つて云く、先に惡因を列ね、次に惡果を列ぬ。惡の因に十四あり。一に憍慢、二に懈怠、三に計我、四に淺識、五に着欲、六に不解、七に不信、八に鬻躑、九に疑惑、十に誹謗、十一に輕善、十二に憎善、十三に嫉善、十四に恨善なり。』此の十四誹謗は在家出家に互るべし。恐る可し恐る可し。

松野殿御返事 一四七九頁

◇人皆口には此の經を信じ、手には經卷を握ると雖も、經の心に背く間惡道を免れ難し。譬えば人に皆五臟あり、一臟も損すれば其の臟より病出で來て餘の臟を破り、終に命を失うが如し。爰を以て傳教大師は、『法華經を讀すと雖も、還つて法華の心を死す』等云云。文の心は、法

華經を持ち讀み奉り讚むれども、法華の心に背きぬれば、還つて釋尊十方の諸佛を殺すに成んぬと申す意なり。縦い世間の惡業衆罪は須彌の如くなれども、此の經に値い奉りぬれば、諸罪は霜露の如くに、法華經の日輪に値い奉りて消ゆべし。然れども此の經の十四誹謗の中に、一も二も犯しぬれば其の罪消え難し。所以は何ん、一大三千界のあらゆる有情を殺したりとも、争か一佛を殺す罪に及ばんや。法華の心に背きぬれば、十方の佛の命を失う罪なり。此の掟に背くを謗法の者とは申すなり。地獄怖るべし、炎を以て家とす。餓鬼悲むべし、飢渴に飢えて子を食う。脩羅は鬪諍なり。畜生は殘害とて互に殺し合つ。紅蓮地獄と申すは、紅のはちすと讀む。其の故は餘りに寒さに詰められてごごむ間、背中わかれて肉の出でたるが紅の蓮に似たるなり。況や大紅蓮をや。かかる惡所に行けば、王位・將軍も物ならず。獄卒の呵責に値える姿は、猿を舞わずに異ならず。此の時は争か名聞名利我慢偏執あるべきや。

新池御書 二〇一頁

◇謗と云うは但口を以て誹り、心を以て謗るのみ謗には非ず。法華經流布の國に生れて、信ぜず行ぜざるも即ち謗なり。則ち一切世間の佛種を斷すと説くは、法華經は末代の機に協わずと云うて、一切衆生の成佛すべき道を閉づるなり。

戒體即身成佛義 一三頁

◆法華經の敵を見ながら置いて責めずんば、師檀ともに無間地獄は疑いなかるべし。南岳大師の云く、『諸の悪人と俱に地獄に墮ちん』云云。謗法を責めずして成佛を願わば、火の中に水を求め、水の中に火を尋ぬるが如くなるべし、はかなしはかなし。何に法華經を信じ給うとも、謗法あらば必ず地獄に墮つべし。漆千ばいに蟹の足一つ入れたらんが如し。『毒氣深く入って本心を失うが故』とは是なり。

曾合殿御返事 一四七一頁

◆謗國と申すは、謗法の者其の國に住すれば、其の國皆無間大城になるなり。大海へは一切の水集り、其の國は一切の禍集る。譬えば山に草木の茂きが如し。三災月月に重なり、七難日に來る。飢渴發れば其の國餓鬼道と變じ、疫病重なれば其の國地獄道となる。軍起れば其の國修羅道と變ず。父母兄弟姉妹を簡ばず、妻とし夫と憑めば其の國畜生道となる。死して三惡道に墮つるにはあらず、現身に其の國四惡道と變ずるなり。此を謗國と申す。

秋元御書 一八四九頁

## ◆安立大法尼

災難激増 各個人の災難は、各人の惡因に匹敵する功德を積みてこれが防止を計り、国家的な災難は、国民全体が目覚めて一般民衆が妙法に帰依することにより、必ず防止することができ

るのであります。しかし、一見善を修するが如くであっても、一つにても法華經の意に背きぬれば、災難を逃るることはできません。のみならず、却って火に油を注ぐが如く、災難は激増するのであります。

始祖・御法話集 九五頁

喧嘩の絶えない家 法を信ぜずして災難から災難続きで、愚痴と不足の他はなく、日々喧嘩の絶え間のない家庭も世間にはたくさん見受けますが、苟も家庭の平和も成らずして、正月が何の嬉しいのでしようか。人間に生を受けたればとて、斯くの如きの状態に陥りては、実に人間の恐ろしと言わねばなりません。受け難き人界に生を受けて平々凡々と暮らす者を仏は「宝の山に入りながら、手を空しうして帰るが如し」（正法念經）と仰せらるるが、迷いの一字に囚われた人々は、宝の山に入りて手を空しうして帰るのみか、恐るべき悪因、即ち、罪を背負い切れぬほど持って、ついには、三悪道に墮落するのであります。恐るべしとも恐るべきことではありませんか。

始祖・御法話集 一一六頁

持戒と破戒 いかにかに戒を持つが如く見ゆるとも、宗教の優劣や、經の優劣を弁えず、真に煩惱を断除して、仏と成るべき妙法を信ぜず、しかもこれを誹謗し、教主釈尊の捨て給える方便の教えをもっていずれも釈尊の教えなれば得道のできざる理由なし、などという輩は、戒を持つ

は愚か、破戒の大罪人と言うべきであります。よくよく思考すべきは、この妙法が釈尊出世の本懐、仏となる真実道なることを明らかに明らめて行すべきであります。この妙法の大善を行なう者を大いに賞揚し、且つ、行ぜしめるようにする、これより大いなる持戒はほかにありません。

始祖・御法話集 一七五頁

### ◆宗玄大徳

謗法の罪 徳本を植えれば必ずや善果が生じて、過去の悪業を滅するものでありますが、かうに妙不可思議の力ある法であることを忘れ、経を誦して利益を得んとし、あるいは題目を唱えても、慈悲・至誠・堪忍の三徳の行がなかつたなれば経の眞価を疑わせ、傷つけ、軽しめ、遂に謗することとなり、最大の罪業を作ることとなるのであります。それはいわゆる謗法罪であります。この謗法の者国に充つるならば、多くの災厄が次から次へと来りて後を断たず、不祥事も起こるのであります。恐れても恐るべきは謗法であります。

村上先生御法話集(二) 四一頁

### ◆御開山上人 十四謗法の事(法華経譬喩品)

『憍慢・懈怠、我見を計する者には、此の経を説くことなかれ』

「説くことなかれ」というのは、説いてもなかなか信じてくることができないから、その悪い心を除いてからしかるのちに説いてやれ」ということである。信じなければ仏の智慧はわからないが、信じているということにはいろいろ障りがおこってくる。その障りをお互によく弁えて、そういう障りをはらいのけるように努めることがきわめて大切である。もし誹謗といって「乖き違う」ことをすれば、仏になる大切な人々を仏になれないようにする、また浄土をつくる人を亡くするようにするのであるからその罪悪は実に重いのである。

この障りを十四にわけてお説きになっている。すなわち「十四誹謗」といわれているのが次の通りである。

一、**憍慢**|| 仏教の信仰をはじめたばかりの者にありがちのことで、少しばかりの文句を覚えたりすると、それでわかったような気になる。実はチツトもわかっていないのではない。わからぬくせにわかったと思うこと。

二、**懈怠**|| 懈けることである。世のなかの人々は大事なこと、自分の本分を怠って、つまらない事に頭を使い、大事な仕事をしないから懈怠である。自分は仏の修行のために職場で働かねばという、その心がけがあればよいが、なければ懈怠の者となる。

三、**計我**|| すべての物事を自己中心として考える。この自己中心の考え方で、人生を滅茶苦茶にしてしまう。相手を喜ばせ、満足させるように、大勢の人々が円満にゆくようにと考えてゆ

かねばならぬ。

『凡夫の浅識、深く五欲に著せるは、聞くとも解すること能わじ、亦為に説くことなかれ』

四、浅識せんしき 物の表面ひょうめんだけを知る。その中心ちゅうしんの大切な点てんをとらえようとしないので、表おもてに現あらわれたことだけ知しって、自ら足みずかれりとする。限りなき深い意味いみ、書き表あらわせない、言葉ことばに表あらわせない、奥底おくそこを考えねば、ほんとうのことはわからない。まちがった考えで終わおってしままう。

五、著欲じやくよく 深く五欲ごよくに著ちやくすることである。普通ふつうの生活せいかつ上の欲よくで、眼げん、耳に、鼻び、舌ぜつ、身の欲よくで、美しい物ものを見たい、綺麗な声こゑをききたい、好よい香かおをかぎたい、うまい物ものが食たべたい、軟やわらかい物ものに触ふれたいというような欲よくで、それらの欲よくに執しゆ着ちやくすることがいけない。五欲ごよくに執しゆ着ちやくする者は、困難こんなんを冒おかし仏ほとけの教おしえを学まなぶ機根きこんがないのである。

六、不解ふげ 聞きくとも「解げすること能あたわず」わかることができなあいのは、その着眼ちやくがんの急所きゅうじょがはずれている。いくらきいても自分じぶんが勝手かつてに解かい釈しやくしていると大事だいじな点てんがわからない。

『若し人信ぜずして、此の経を毀謗せば、則ち一切世間の、仏種を断せん』

七、不信ふしん すべて自分じぶんをもって人ひとを推おすから不信ふしんの念ねんがおこる。自分じぶんたちの智慧ちゑはたかがしれたものだ。自分じぶんが信しんじないばかりか人ひとにも信しんじさせないようにすることは浅あやましいことで、そ

の弊害は非常に大きいのである。「一切世間の仏種を断ぜん」世間の仏になる種をなくす罪だから、非常に大きな罪悪である。

『或は復た犢蹻して、疑惑を懐かん。汝当に此の人の、罪報を説くを聴くべし』

八、犢蹻Ⅱ憎む心もちを顔かたちにあらわすことで、世の中に非常に悪い影響をあたえるのである。顔をしかめて教に対する反感をあらわすことである。教を行う者に反感をあらわすことは、法華経のひろまるのをさまたげる事で大きな罪である。笑顔をもって接せねばならぬ。

九、疑惑Ⅱ一通りわけはわかっても、果たしてそんなことができるかと躊躇することである。法華経は立派なお経であるが、それは理想であって行えそうもないと疑う疑惑の人がいると、他の人をも誘って精進する心を失わせる。この罪も非常に大きいのである。

『若しは仏の在世、若しは滅度の後に、其れ斯の如き、經典を誹謗することあらん』

十、誹謗Ⅱ言葉で悪くいうこと。他の者を誹謗して自分を昂めようとする。ことに法華経の信奉者を誹謗する事は非常に罪悪である。

『経を誦誦し、書持することあらん者を見て、軽賤憎嫉して、結恨を懐かん』

十一、**輕善** 善を輕賤することである。善い事は小さくても、善は善に違いない。小さい善もつとめることによって大きな善を行う力が生ずるのである。善い行を輕んぜず、これを賞讃して善を**はげむ**べきである。

十二、**憎善** 善を憎むことである。清廉潔白な人を苛めだすようなこと。一人善い事をする者がある**と煙たがる**、いじめるとい**う事はほんとうに悪い事**である。善い行をするように、もつと奮発するようにすべきである。

十三、**嫉善** 善をねたむことである。「あいつ運のよい奴だ。碌な事もしないくせに」とい**つて善い行をした報いとして当然の事**であるのに、ねたむ、排斥する。これも大きな罪悪である。

十四、**恨善** 善を行う人を敵として恨むことである。世の中には善い事をする者があるから自分たちは排斥されていかぬ。善い事**をしている奴を追払ってしまおう**。法華經を行う者は追払ってしまえ**ぐ**ということになつたら大變、大きな罪悪である。

『此の人の罪報を、汝今復聴け。其の人命終して、阿鼻獄に入らん』

誹謗を十四種にわけて説明したが、法華經および法華經の实行者にたいしてその誹謗の**一**でも犯したその罪惡の報いをよく聴くがよい。その罪惡を犯した者は、生命が**終わったならば阿鼻地獄**(無間地獄ともい**って間断なく苦をうけるところ)に墮落してしま**うのである**。自分の**

作つくった罪つみでまた自分じぶんが自然しぜんに苦くるしまねばならぬ。これを業報ごうほうという。

妙法蓮華経略義 二四二〜二四六頁

## ◆日達上人

「報恩ほうおん」を第一だいいちに 十四じゅうしの謗法罪ぼうぼうざいを一々いっさ考かんがえていたら、ゝあの罪つみがある。この罪つみもある。もう地獄ぢごく行きは逃のがれられないゝと落おち込こんでしまいますが、そんなに一々いっさと細こまかく考かんがえる必要ひつようはないうです。

奈良時代ならじだい、僧侶そうりよには二百五十にひゃくごじゅうもの戒律かいりつが定められていました。それが段々だんだん時代じだいが下さがり、伝でん教大師ぎょうたいしの時代じだいには五十八ごじゅうはち戒かいとなりました。それでも全部ぜんぶを守まもることは不可能ふかのうと思おもえるほど大變たいへんです。

それからもう少すこし後あとになり、十世じゅうせい紀きの頃ころ、安然あんねんという方かたが「一々いちじゅう日常にちじょうの行動こうどうが五十八ごじゅうはち戒かいに叶かなっているかどうか気きにしなくても、『報恩ほうおん』の行おこないさえ実行じっこうしてゆけばいい」と教おしえました。仏ほとけさまのご守護しゆごや、いろいろな人ひとのおかげで今の自分じぶんがあることを知るしるのは「知恩ちおん」です。知しっただけでは法華経ほけきょうの信者しんじやとしては充分じゅうぶんではありません。知しったら、自分じぶんのできることで、自分じぶんの得た喜よろこびをまわりの人ひとに施ほこしてゆかなければなりません。それが、報恩ほうおんの実行じっこうです。報恩ほうおんの心こころを忘れわすれずやっけてゆけば、すべての戒かいに叶かなうことになります。

幸せはだれもの願いです。自分が幸せを願うなら、まず、まわりの人を喜ばせてゆくことで  
す。自分一人だけ幸せでも、家族の者やまわりの者が不幸に泣いていたら、自分の幸せはあり  
ません。まわりの人を喜ばせてゆくことが、自分の幸せを作ることになります。

『月刊法音』第二八一号 一一頁

何もしないのも**誹法罪** 多くの人の中には、私は何も悪いことをしていないから**罪障**などな  
いという人がいるかも知れません。信仰の世界ではどう見るのでしょうか。

たしかに、盗みとか詐欺といった**犯罪**は犯していないかも知れません。また、**法華経**を誹つ  
たり、信仰の邪魔をしたりという「**誹法罪**」も犯していないかも知れません。しかし**法華経**の  
世界は、そうしたことだけが**罪障**を作るというものではありません。何もしないでいることも、  
**罪障**となるのです。

私共は皆、仏さまの世界に住む仏さまの子どもでもありますから、生きている以上、慈悲の行  
ない、堪忍の行ないをして、あたりまえです。人間は、菩薩行をするために生まれてきた  
と**法華経**は説きますから、日々、徳を積もうともせず、人を喜ばせようもしなければ**法華経**  
の教えに背くことになり、立派に**誹法罪**となります。

これは耳の痛い話です。閻魔さまの前へ行くと、「私があげた命を、自分のために使ったの

と、人のために使ったのと、どちらが多いですか」と聞かれます。

私は今、こうして生きています。しかしこれは、私の方だけではありません。大勢の方のお世話になってるのです。

食べる物・着る物、たとえ自分でお金を払って買ったとしても、それ以上の施しを受けているのです。それが現在のみならず、この世に生まれてから今日まで、そして、死ぬまでのことを考えますと、いったいどれほど多くの人の世話になり続けてゆくかわかりません。そこで自分が何もしないということは、何の恩も報じない」ということになりますから「何も悪いことをしていない」といっても通用しません。

生きてる以上、自分が受けた施しを、何かの形で返してゆくのは当然です。多くの、まわりの方の堪忍のおかげで今があるのですから、自分が堪忍をするのはあたりまえです。それは、自分だけがすることではありません。自分も、菩薩行の仲間入りをさせて頂くという、それだけのことなのです。

『月刊法音』第二五七号 八〇頁

※本稿中、内容・文言にその時代及び「教学上特有の記述」さらに、現代においては不適切と思われる文言も散見されますが、時代背景を鑑みいずれも原文のまま転載しました。読者諸賢のご賢察を願うものであります。

編者

# とこののはの記

三徳開教百十年 特別企画  
安立大法尼の教え

②

## 法華經の信仰で「宝の山」に

世間の人々が嫌って、避けたいと思うのは、災難と病氣と自らの死でしょう。ならば、これらを避けて、幸福への道を歩んでいるでしょうか。

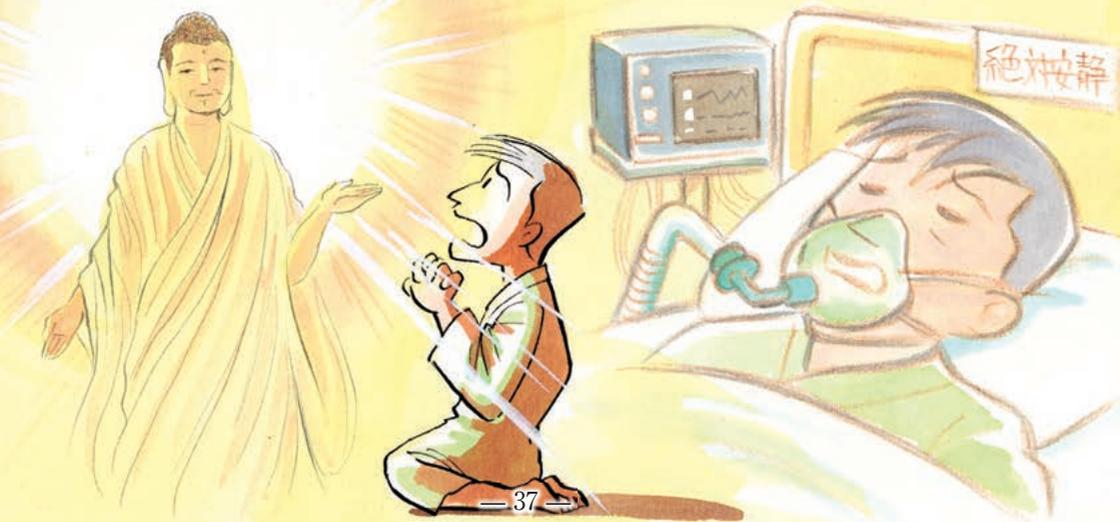
「自分さえよければ他人はどうなっても構わない」という心でいたり、または「足りている」ことを知らずに常に不満を抱いて愚痴を言い、少しのことでも腹を立てているようなら、どんなに災難を嫌っても、避けることはできません。言うまでもなく、それぞれの日常の心掛けが大切なです。



世間にはよく、何か良いことはないか、と言う人々がいますが、過去に善いことをたくさん行っていればともかく、善いこともせず、どうして良いことが起こるでしょうか。今までに少しも善いことをしていないのに、何か良いことはないか、というのは、まるで種を一粒もまかないのに、米が収穫できない、と文句を言っているのと、少しも変わりがありません。

では、良いことが起こるようにするにはどうすればよいでしょう。言うまでもありません。何をしても善根功徳を積むことです。仏道を信じて「慈悲・至誠・堪忍」の精神修養をするのです。

凡夫の菩提心はとかく悪縁に惑わされ、心移りしやすく、  
「魚の子は多いけれども魚になるのは少なく、あんらじゆ菴羅樹(※)の花は多く咲くけれども、菓になるのは少ない」という日蓮聖人のお言葉（松野殿御返事）のように、一度は正しい道



に入っても迷いやすいのです。人として生まれ、善い教えに出会いながら、信じる機会がなく、迷いながら一生を送り、病に苦しめられ、あるいは災難に遭って一生を終わるとしたら、宝の山に入りながら何も手にせず帰るようなものです。その時になってどんなに後悔しても、取り返しはつきません。

日蓮聖人はまた、次のようにもおっしゃっています。

「魚は命を惜しんで池に棲むが、池が浅いぐと池の底に穴を掘って棲む。ところが餌につられて釣り針を呑んでしまふ。鳥は木に棲むが、木の低いことを怖れ、木の上の枝に棲む。ところが餌につられて網にかかってしまふ。人間もこのようなものだ」(佐渡御書)

皆さんは、魚や鳥のように餌につられて迷わないように、この法華経の教えを信じて、善悪を見分けて進んでください。人の命は風の前の灯火のよう、そして、朝日に向かう

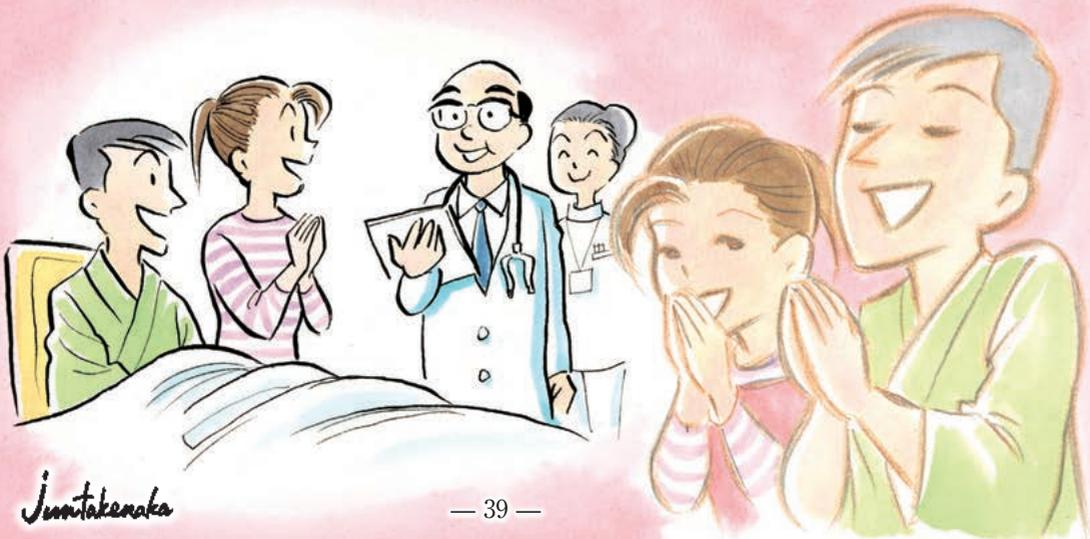


露のようなものです。このはかない一生の間に、迷いと悟りが幸と不幸という結果の違いを生みだしてしまうのです。せつかく人として生まれて来て、悟ればどのような悪因縁も消滅して善い結果につながるのに、迷いのために功德も積まず日常を暮らすだけでは、わずかにある善根も減ってしまい、かえって悪因を増やしてしまうのは、嘆かわしく、また恐ろしいことこの上ないことです。

このことをよく考え、いづどんな時も「南無妙法蓮華經」と唱えてください。堪忍して徳を積んでください。きっと、災難も未然に防ぐことができます。病気も起こりません。長生きできます。何か良いことはないかと言わなくても、自然に運が良くなり、富み栄えるのです。

※菴羅樹あんらしゅ

花はたくさん咲くものの、実がなるのは三千年に一度であるという、仏教の説話に登場する樹木。正しく人生を歩むための道に出会うことのむずかしさを表している。



# のりのね体験

いま・昔

注意してくださいさるのではありませんと悟りました

安井 鉦五郎（昭和8年3月 出世の葉27号）

私が修養団の団員になった動機は、〃同じ会社で働いている者は、兄弟のように親しみ合う修養がしたい〃と思っていた時、金島支部長さんと安田君が、この修養団に入団することを勧めてくださいましたからです。入団と同時に私は、諸先生が教えてくださるように、人を慈しむこと、誠をもって事をなすこと、堪忍することを実際に行うように心掛けました。どんなに人が笑おうとも平気で実行しました。続けていくうちに、当初笑った人々もついには笑わなくなりました。

世の中の名士と言われる人々は、口でこそ「修養、修養」と言われますが、実際に行のできる人は本当に少ないように思います。私達を導いてくださる諸先生は実際に行われたことを話してくださいさるから、私達も実行しやすいのです。

〃御仏の道は、老人に限る〃と思っていました。諸先生からお話をお聞きすると、御法の尊いことがよくわかります。また諸先生が、ご自分のことを省みず、他人の幸せとなるようにお働きくださることを思うと涙が出ます。私達も、朝早くから労力奉仕をしたり、お金を貯金して貸し傘を備えたり、道でつまづくような木や石があれば取り除いたり、坂道で苦しむ車があれば後押しをしてあげたり、

電車や自動車内で席を譲ったり、少しでも人が喜ぶことをするように常に心掛けています。

善いことは行いにくいけれども、善いことをすれば徳がいただけるので、実行しないのは損です。実行できないのはわがままです。皆さんご承知のように、私は怒りっぽくて、わがままで、愚痴の多い者でしたが、諸先生が「頭にかぶりつく程、堪忍しなさい」とおっしゃいますので、堪忍しないわけにはまいりません。腹を立てた後はとても気持ちが悪いものですが、堪忍をした後は何とも言いようのない良い気持ちです。

先月、監督さんから「君は仕事を一心にやってくれるが能率が上がらない」と注意されました。修養団に入る前の私なら、監督さんを恨み、二、三日休んでしまったでしょう。それでは親にも心配をかけます。しかし、今は修養団のお陰で、私の欠点を注意してくださるのがあります。悟りましたから腹も立たず、親に心配をかけることもなく済ませることができました。心から諸先生に感謝します。

こうして幸せを得た私達は、お国のために一人でも多くの方に御法の徳をお知らせしなければなりません。他人を善い行いに導こうとする私達は、一層実行に努力して、諸先生の御恩に報いる覚悟で益々努力してまいります。

## 祖父とお題目

東京支院 門脇 武裕（平成29年 信教師会報第48号）

妻の祖父が亡くなる際にお題目の功德を体験させていただきました。祖父は、とても優しくして内気

な性格でした。祖父との会話は数多くはありませんでした。

平成21年7月のことでした。妻から「祖父が田んぼで仕事をしている時、目眩がして途中で休んだことを心配している」と聞きました。祖父は以前から身体の不調が見受けられていましたが、病院嫌いのため検査を拒み続けていました。その後、家族の説得でようやく検査入院しました。

数日後、検査結果は「末期の肺がん」で、「余命6カ月」と告知されました。

祖父は入院すると日に日に元気が無くなっていきました。8月下旬から容体が芳しくなく、仕事に妻から「もうダメかもしれない」と電話がありました。妻が取り乱しそうだったため目を閉じて必死でお題目を唱えました。「おじいちゃんはまだ大丈夫だから、医者があきらめていないのに家族があきらめたらダメでしょ」と冷静になるような言葉を妻にかけました。

9月26日に神戸支院で「青年の集い」という法音寺・青少年育成委員会の行事がありました。私は急きょ代役で体験談をさせてもらうことになりました。「お徳を積むことができる。このお徳を祖父に届きたい」と思い、体験談をさせていただけることがとてもうれしく、諸天に感謝しました。

9月27日の朝、電話があり、「祖父の容体が悪く病院に来て欲しい」とのことでした。本当に今日でお別れかもしれない。覚悟しなくては、と思い、急いで病院へ向かいました。

病院に着くと、衰弱し、小さくなった祖父の姿が目に入りました。その姿を見て、法華経を実行する者として、お題目を唱えなければ、と強く思いました。

祖父は、数十分おきに少し意識が戻る状態でも辛そうでした。祖母が「武裕が田んぼの仕事を手伝ってくれるから安心して」と祖父に話しかけていました。私は祖父の足をさわりました。とても

冷えていました。

「おじいちゃん、昨日お寺でお徳を積んできたよ。少しかもしれないけどこのお徳をおじいちゃんに送るからね。最後までお題目を唱えているから安心してね」と、心の中で祖父に語りかけました。冷たい祖父の足を手で包み、お題目を唱えました。それまで意識が遠のきそうだった祖父が、起き上がろうとして涙を流し「ありがとう、ありがとう」と、声にはなっていないかもしれませんが、伝わるものがありました。

私も周りにいた人も驚きました。周りにいた人は、私が田んぼの仕事を引き受けたことを喜んでいるように見えたようでした。しかし、私にはお題目が祖父に届いたと感じました。そして一生懸命、祖父の身体をさすらせていただきました。

夜になり、子どもを寝かせるために家に戻りました。子どもが寝ついた後、すぐに電話をかけると「たった今息を引き取った」ということでした。私は、声を出してゆっくりお題目を何度も唱えました。祖父の感謝の言葉が聞こえてくるようでした。

私は祖父を通して、三先師、日達上人、山首上人さまのお徳の力を体験し、お題目を一生懸命に唱えれば功德がいただけると確信しました。お徳積みを見せていただけたことに感謝の気持ちでいっぱいになりました。



# 福祉に 生きる



社会福祉法人 昭徳会

特別養護  
老人ホーム

## 小原安立の実践

『日本の福祉を築いたお坊さん』に学ぶ。

鈴木修学先生が築き上げた福祉の

新たな未来を切り開くために…

「役に立つ私」になるため、幸福の種を育てる

小原安立 事務員 山内 悦子

私がこの本を読んで一番印象に残ったのは、「日本社会が急速に復興していく中、人々の間に利己的な風潮が広がり、他人のために何かをしてあげたい」という気持ちも薄れてきていました」という文章でした。

私は、小原という土地で生まれ、思いやりの心や何事にも精一杯取り組む姿勢、奉仕の精神を教えてもらいながら育ちました。それがいつ

のころから親切にする前に立ち止まり、〃一生懸命〃を恥ずかしく思い、他人のために何かをするより自分を優先してきたと思います。自分もまさに、他人のために何かをしてあげたい〃という気持ちが薄れてしまった一人だったことに気がつきました。改めて文章で見ることで、自身の見ないようにしてきた部分を確認し、反省しました。

次に「人間も心の耕作を怠らなければ必ず善い人になれる。心を育て、世の中になくはない人間になろう」という文章には励まされました。まだまだ上手くできないことが多く、迷惑ばかりかけていますが、怠けず曲がらず役に立つ人になれるように努力を続けていきたいと思えます。

私は昭徳会を知るまで、福祉や社会事業について考えたことがなく、知ろうとすることもありませんでした。今回、鈴木修学先生の物語を読み、とても大切なことを教えていただきました。人々の本当の幸福を願うなら「施設の間は一般社会の人々に理解を求め、その支援を信頼することを忘れてはいけない」ということです。施設の職員による支援だけではなく、社会の人々の支援の手が差し伸べられて一人前になるということでした。私は施設で働くようになってから、自分は福祉とは関係ない〃とと思っていました。しかし実はそうではなく、一般社会の人々の支援と理解がとても大切なことだと知りました。日頃ボランティアに来てくださる方は本当に素晴らしい活動をされているのだと思

いました。

今回鈴木修学先生の物語を読んで、反省したり温かい気持ちになったりし、新たに気づいたこともありましたが、これから昭徳会の職員として「私では役に立たない」ではなく「役に立つ私」になるために、まずは私の近くにある幸福の種を育てていきたいと思えます。

## 笑顔と感謝の気持ちを忘れずに

小原安立 生活相談員 鈴木 礼実

この本では、法華経の教えに基づいて福祉サービスの実践と福祉教育に生涯を捧げた鈴木修学先生の行ってきたことや、現在の日本福祉大学や社会福祉法人昭徳会が創立されるまでの経

緯等がとてもわかりやすく書かれており、修学先生の業績について詳しく知ることができました。

修学先生は、若くして菓子問屋を営み、成功を収められていましたが、次第に人生の意味を考え、仏教感化救済会の創立者である杉山辰子先生のもとを訪れます。杉山先生は「あなたには、自分の正体がわかっていきますか。あなたには、あなたでなければできない大切な役割があります」と言われました。この言葉を見て、私自身も改めて考えてみました。たくさんある仕事の中から、昭徳会で働かせていただくことを選びました。これはきっと私に、やらなくてはいけない役割を与えてくださったのだと思います。私にしかできないことや、私がすべきことを常

に考え、困っている方を幸せに導いていくことができるような人間になりたいと感じました。

また、修学先生は法華経の精神である「慈悲・至誠・堪忍」の三徳を自ら実行されました。

杉山先生から福岡県にあるハンセン病療養所の運営を託された時には、周りからの資金援助等はほぼなく、修学先生ご夫妻は自分達の着物や大切にしていた物を質に入れて、何とか生活費をやりくりされていきました。若いお二人には大変困難な状況であったと思います。それでもあきらめることなく患者さんの支援を続けられました。その結果、大勢の人々の心を動かし、寄付を申し出てくださいる人が現れるようになりました。これ程のことをされた方々ですが、みつ夫人の二度も自殺を考えたことがあったという

話には、胸が張り裂けそうな思いになりました。

戦後まもなく、食料などあらゆる物資が不足し、生きていくのも大変な状況の中で戦災孤児の保護にも取り組まれました。「どんな困難な状況でも、明るい心を失ってはならない」「物質的には恵まれなくても、心の持ちようで希望の光は見えてくる」等、子ども達に不安な思いをさせないようにと明るく声をかけられました。

これは戦後だけのことではありません。高齢者施設で働く職員として、入居者の方やご家族に不安を抱かせたり、辛い思いをさせてしまうことのないよう、一人ひとりの幸福の実現に向けてその方の気持ちに寄り添い精一杯支援させていただきます。修学先生が築いてくださった昭徳会、その職員の一員として、どんな時も笑

顔と感謝の気持ちを忘れることのないよう働いていきます。

## 人に親切にできる人間になりたい

小原安立 介護員 小山 あゆみ

私がこの本を読んでまず思ったことは、〓修学先生の行動で東京や大阪にしかなかった社会事業の大学が名古屋に誕生し、四年制大学になり、日本福祉大学へと発展したことがすごい〓ということでした。

修学先生は幼い頃から性格も明るく、仕事もくじけることなく励んでこられました。ご家族からいろんな話を聞いて、〓自分も立派になつて、生活に困っている人を助けたい〓という気

持ちになることが、すばらしいと思いました。私も〓不幸な人々を幸せにできたらいいな〓と思いました。「南無妙法蓮華経」というお題目には、自分だけでなく他人も幸せにする力があると聞いたので、自分もお題目を唱え、不幸な人々に少しでも幸せになつてもらえるようにしたいです。人間はいろいろな人々に出会い、学ぶことで幸せになっていけると思いました。

私はこの本を読み、いろんな人がいる中で、生活の苦しい人や、虐待されて捨てられた子どもを本当に気の毒に思いました。親から虐待を受け、捨てられ、深い傷を負った子どもは、これからどうすればいいのかわからなくなる上に、大人を信じられなくなることもであると学びました。

私は困っている人を助けたい。幸せなおじいさんやおばあさんにも、今以上に幸せになってもらいたい。病気で亡くなってしまう方も、最期には幸せだったと思ってもらいたいです。そのためにも私自身に何ができるかを考え、人のために役立てるように頑張りたい」と思いました。私も修学先生のような優しく、人に親切にできる人間になりたい」と思いました。



.....  
特別養護老人ホーム 小原安立 他

- 愛知県豊田市沢田町座内22
  - 入所定員80名。ショートステイ6名
  - ◆高齢者グループホーム小原安立6名。
  - ◆小原安立共用型デイサービス事務所3名
  - 職員 正職員42名、パート職員等37名
  - 事務員⇨施設における人事書類の作成・文書管理、給与・会計関係処理等の業務を担当します。また、施設運営に関するさまざまな情報を収集し施設内職員の業務をサポートします。
  - 介護員⇨入所者の食事介助、排泄介助、入浴介助、移動介助、清潔・整容介助を主に担当。国家資格である介護福祉士の取得者が望ましいが、介護員として特に資格は必要としない。介護員として3年間の実務経験と実務者研修の修了で国家資格である介護福祉士の受験が可能となります。
  - 生活相談員⇨利用者に対して相談援助業務に従事します。社会福祉士の資格または社会福祉主事の任用資格が必要です。
- .....

※本稿は平成29年7月にいただきました。(掲載順不同)

『日本の福祉を築いたお坊さん』 日本福祉大学を創った鈴木修学上人の物語

星野貞一郎著・中央法規出版・新書版・168頁・800円(税別) 本書の著者印税のすべては「あしなが育英会」に寄付されています。

## 奪わな い 介 護



写真提供・昭徳会

高 齢 者 グ ル ー プ ホ ー ム 小 原 安 立  
～活動や環境の工夫で自信・安心を取り戻す～

グループホーム小原安立は、共同生活を送ることができ、要支援2から要介護5と認定された認知症のある高齢者の方の施設です。入居定員は6名で、家庭的な雰囲気の中、短期記憶障害等の症状はあるものの、自立度の高い方がご入居されています。

グループホームでは、認知症の進行により「できなくなつた」ことに対して職員が一律に介護してきましたが、*「かえって認知症の症状を悪化させているのではないか？」*と疑問を抱くようになりました。そこで、「できなくなつた」から介護するのではなく、昔からの生活習慣である「洗濯」「風呂」「炊飯」の3つに重点をおき、『奪わない介護』をテーマに取り組んできました。その実践の中から「洗濯」「炊飯」に関する工夫についてご紹介します。

昔の「洗濯」は、たらいと洗濯板を使用していましたが、昭和5年頃より日本でも洗濯機が

誕生し、今では全自動洗濯機が一般的となっています。ご入居者も全自動洗濯機を使用されてきたのですが、短期記憶障害等により洗濯機の使用方法（①蓋をあける、②洗濯物を入れる、③洗剤を入れる、④蓋をしめる、⑤スイッチを入れる）の、いずれかの記憶を忘れてしまったため、洗濯機が使用できなくなっていました。そこで、これらの操作手順を洗濯機の操作ボタン一つひとつに表記することで、記憶障害があっても安心して操作ができるようになりました。しかし、洗濯機は使用できるようにりましたが、洗濯したことを忘れてしまいます。そこで、アラーム付のタイマーをセットしました。アラームが鳴り、「洗濯が終了しました、洗濯物を干してください」という表示を見て、ご入居者が主体的に洗濯物を干すことができるようになりました。

「炊飯」は、（①米を研ぐ、②炊飯器の蓋をあ

ける、③窯に米を入れる、④炊飯器に規定量注水する、⑤炊飯器のスイッチを押す）等の記憶が必要です。すべての手順を一覧表に記載し、炊飯器にも操作する順番に番号を表記しました。すると、記憶障害のある認知症の方でも一人で「炊飯」ができるようになりました。

このように、基本的に記憶障害の症状が現れ、「時間」「場所」「人」の順番に忘れてしまう認知症ですが、介護する側が認知症の特性を理解し、その人に合った生活環境の工夫や調整をすることが大切です。

認知症が進行しても「できる」ことがたくさんあるということが、今回の実践で確認することができました。今後もご入居者の「できる」という自尊心を大切にしながら、『奪わない』介護を実践していきたいと思えます。

高齢者グループホーム小原安立

グループリーダー・介護員 成瀬友昭

# 開設60周年記念事業を実施

## ～日本福祉大学社会福祉学部

中部社会事業短期大学から日本福祉大学となり、「4年制大学として日本で最初の社会福祉学部」として誕生した本学部は、昨年開設60周年を迎えました。

誕生した1957年4月は、もちろん本学部の第一歩ですが、『福祉』の文字が、日本の大学名称及び学部名称に含まれるようになった、第一歩でもあります。

現在、大学名に『福祉』を含んでいる大学は、本学を含めて18大学。『福祉』が含まれる学部名称は、本学部を含めて77学部となっています。

昨年3月までの卒業生数は、3万8000名に上ります。福祉・医療分野をはじめ、公務員・教員、企業などさまざまな分野で活躍している卒業生のネットワークは強く、「どの福祉現場に行っても卒業生がいる」とも言われています。

開設60周年を記念して、これまでの研究・教育の成果を振り返るとともに今後の展望を見据えるために、また、在学生・教職員と卒業生のつながりを改めて確認し、より強くつながる機会とするために、同窓会の協力も得て



写真提供・日本福祉大学

3つの記念事業を実施しました。

まず一つ目は、9月30日(土)「日本福祉大学の学びと地域福祉の展開」をテーマに、シンポジウムを開催しました。地域福祉推進の要となる全国各地の社会福祉協議会に勤務する卒業生が、日々向き合っている地域での福祉課題を熱く語ってくれました。学生達も「働く上で大切にしていることは」「仕事でジレンマを感じたのはどんな時」と、先輩達に卒直な質問を投げかけていました。学生達は憧れの先輩の生の声にふられ、卒業生にとっても仕事の原点に立ち返った一日となりました。

二つ目は、11月4日(土)の大学祭と同日に、「MSW(医療ソーシャルワーカー)交流会・今、改めて問う『医療ソーシャルワーク』と「PSW(精神保健福祉士)交流会・伝統の継承と今後の発展」をテーマに、卒業生によるシンポジウムと卒業生と在学生の意見交換会が開催されました。

本学は、国内最多の医療ソーシャルワーカー輩出大学と言われ、医療福祉の発展に寄与してきました。また多くの卒業生が、制度や社会資源のない時代から精神保健福祉士として精神保健福祉の発展に貢献してきました。在学生は卒業生の話に触発され、「自分も卒業生のようになりたい」との思いをより強くしましたようです。

三つ目は、12月16日(土)「『子どもの貧困』実践・研究のこれから」と題して、本学の教員を中心に基調講演・シンポジウムを行うとともに、子どもの仕事に関わる卒業生や学生達によるワークショップが開催されました。

シンポジウムでは、困窮世帯ほど親子とも社会から孤立しがちで、必要な情報にアクセスできていない現実や、経済的な支援に加えて、子どもが人生の目標を持つための支援の必要性などが語られました。そしてその後のワークショップでは、「子どもの未来をつくるために私達ができること」をテーマに、参加者全員で意見交換がされました。

開設から60年以上の時を経た今、建学の精神にある「悩める時代」という言葉は、形を変え、重みを増して私達の目の前に現れているように感じています。

社会福祉の問題やその仕事の重要性を社会にアピールし、楽しく、温かな、そして真剣な、60周年記念事業にしたいと進めてまいりましたが、「社会の革新と進歩のために挺身する志」を持ち活躍する卒業生の姿に、改めて感銘を受けました。そして社会が大きく変化し、社会福祉を学んだ人材が活躍する場も変わりつつある中で、必要なスキルを身につけた学生を送り出していく使命を新たにしています。 社会福祉学部長 小松 理佐子

幸せの種まきⅡ一人が一人を

自分のでできることで、

立場を通して

人を喜ばせていきましよう

人生は、人がよくしてくれるのではなく、自分が積んだ徳、行いによって結果が出るのです。

大乗山 法音寺

## 編集後記

今月号の支院だよりは、各地の節分会の賑やかな様子が報告されています。記事を読むと法音寺の節分会は、日頃なかなかお寺に来ることができない方々も楽しみに参加される一大行事なのだと思います。世間では「若い世代の宗教離れ」が報道されていますが、果たして本当はどうなのだろうか？と思う今日この頃です。

スマートフォンで情報を得るのが現代の若い世代。昨年、法音寺は公式フェイスブックを開設し、顕修院日達上人の「一日一言」を配信してきました。SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）のごいところは、発信した情報が国境を越えていくこと。実際、「一日一言」は国内だけでなく、遠い異国に住む人々にも届いています。そして、「いいね」のボタンが日々たくさん押される現実を考えると、仏さまの教えを必要としている人達が、世の中にはこんなにもたくさんいる。と実感させられるのです。

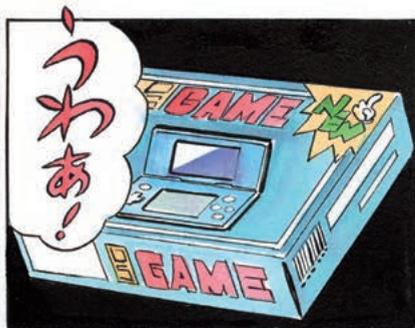
3月27日は「祈りの日」として昨年、記念日登録されました。『日本書紀』の中に、白鳳14年（西暦685年）3月27日に天武天皇が「諸国の家ごとに仏舎を作り、即ち仏像と経を置いて礼拝供養せよ」と勅命を下した記述があることに依拠しているのだから。

仏さまに救いを求め、尊い教えと共にありたいと願う気持ち。昔も今も変わらないのですね。



たんじょうび  
誕生日プレゼント

竹中 淳





こりや  
プレゼント  
もらったことに  
感謝してるな

でも先生や  
友達からは  
プレゼント  
もらってないよ



そりや 家族や  
学校の先生 友達  
おまえの周囲の人  
みーんなさ

たくさんの人達に  
世話になってここまで  
大きくなったことを  
感謝するんだよ

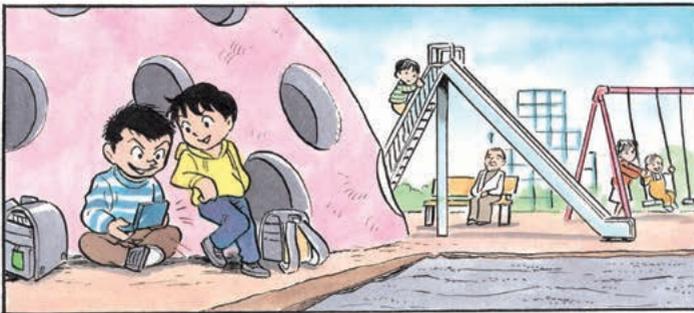


私もお小遣い  
出したんだからね  
やらせてよ

きっと  
そのうち  
わかるわよ



まだ  
小学生じゃ  
わかんない  
のかねえ



えっ ゲーム？  
放課後  
やらせてくれよ



ん？  
どうした？



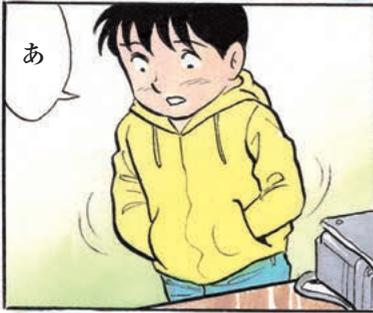
いいプレゼント  
もらったなあ  
うらやましいよ



あーあ  
ダメだあ

次ボク！







きつと公園から  
家に帰る途中  
どこかに落と  
し  
たんだな

えー！ない？  
たしかポケットに  
入れてたぜ



もしもし  
タケル？



こんな時間  
に  
どこ行くの？



おーい  
蓮！  
あった  
かあ？



プレゼント  
もらって  
すぐなくす  
なんて…

ゲーム  
でてこい！



よし オレは  
向こうの方  
さがしてくる





ボクもこのゲーム  
ずーっと欲しくて  
欲しくて  
たまらなかつたから  
よくわかるの

だからボク  
ここで待ってる  
きつと気がついて  
取りに来ると  
思うんだ



でも ナオ  
塾は  
どうする？

あ

ほら ママが  
迎えにきた

あの  
お兄ちゃん  
あちこち捜して  
るんだろうな



わかった！  
ナオは塾に  
行ってこい  
あの子に  
じいじが  
必ず返して  
おくからな



でもよかったよ  
ナオのいうとおりに  
キミを待ってて  
会えたんだもの

ナオもきつと  
喜ぶと思うよ

ありがとう  
ございました

よかったな

気をつけて  
帰りなさい

さよなら



ゲームが  
みつかったことも  
うれしかったけど  
今日会った  
ばかりの知らない  
子が拾ってくれ

おじさんは  
ボクが  
来るまで  
何時間も

待っててくれた  
ことが とても  
うれしかった

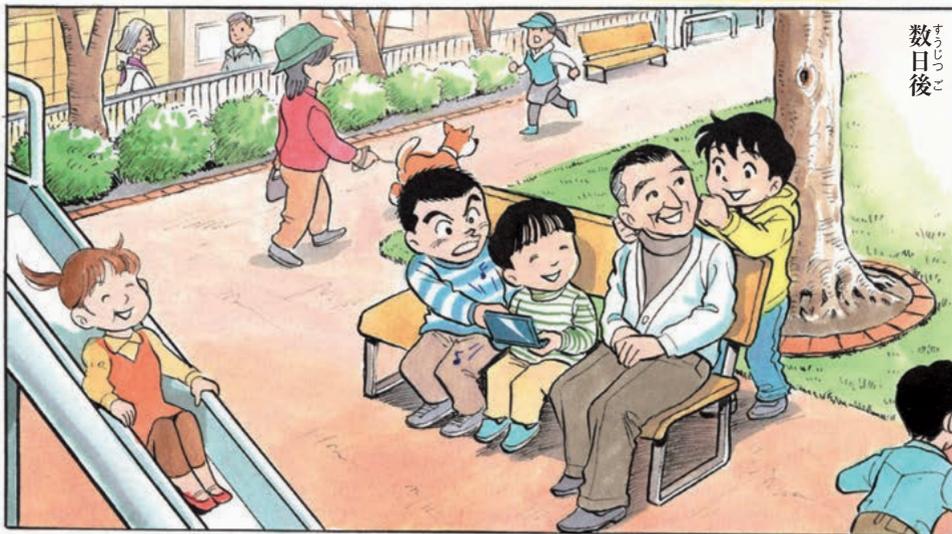
ナオくん  
おじさん  
ありがとう

ねえ  
おじさん  
ナオくん…  
何かボクに  
できること  
ないかな

おじさ〜ん  
ナオくんとは  
よくここへ  
来るの〜？



数日後  
すうじつご



おまえ  
きょうこうえん  
今日公園で  
いっしょにいた人  
知り合いかい？

うん  
そうだよ

あのおじさんと  
ナオくんは  
ボクの大事な  
おんじんなんだ



おしまい

# 書籍のご紹介

法音寺を  
知りたい方へ



戦後、法音寺を開山した鈴木修学上人は、仏教の教えを漫画で伝えようと多くの仏教漫画を作りました。当時の仏教界では革命的な取り組みでした。現在、全国の日蓮宗寺院で法音寺の仏教漫画が販売されています。

■まんが

『法音寺物語上・中・下』

法音寺広報委員会 企画

中央法規出版刊

B5版 平均九六頁総カラゝ

定価各巻一、〇〇〇円(税別)

法音寺の教えを  
学びたい方へ



現代生活の指針

鈴木修学著

四六判/三四五頁

定価八〇〇円(税込)



続現代生活の指針

鈴木修学著

四六判/三五二頁

定価八〇〇円(税込)

仏教を  
学びたい方へ



鈴木修学先生の  
南無妙法蓮華経

浅井圓道著

山喜房佛書林刊

四六判/二百二頁

定価一、八一四円(税込)



妙法蓮華経略義

鈴木修学著

青山書院刊

A5版/八六三頁

定価六、〇〇〇円(税込)

福祉を  
学びたい方へ



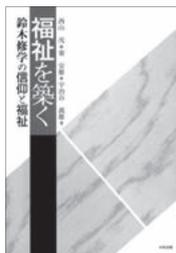
日本の福祉を築いた  
お坊さん

星野貞一郎著

中央法規出版刊

A6版/一六八頁

定価八六四円(税込)



福祉を築く

西山茂・秦安雄／  
宇治谷義雄著

中央法規出版刊

A5版/二二三頁

定価三、六二八円(税込)



# 知恩報恩

「ありがとう」と言う私から  
「ありがとう」と言われる私に

写真・法音寺大本堂  
《山首上人の大荒行御成満奉告法要の砌》

## 日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135  
http://www.houonji.com FAX.052-831-9801

講話日

毎月7日・17日・27日  
午後1時30分



### 法音寺の社会福祉・教育事業



徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

#### 社会福祉法人 昭 徳 会

■児童養護施設

駒方寮  
名古屋養育院  
名古屋若松寮

■障がい児入所施設

小原学園

■障がい者支援施設

小原寮  
泰山寮

■特別養護老人ホーム

安立荘  
高浜立庄  
小原安立

■障がい福祉サービス事業

授産所 高浜安立

■軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)

ケアハウス 高浜安立

■軽費老人ホーム

ケアハウス 大阪安立

■養護老人ホーム

養護老人ホーム 高浜安立

■自立援助ホーム

慈泉寮

■保育所

駒方保育園  
光徳保育園  
天王保育園

法人本部 〒466-0832 愛知県名古屋市昭和区駒方町4-10 TEL(052)831-5171  
http://www.syoutokukai.or.jp

我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

#### 学校法人 日本福祉大学

■日本福祉大学大学院

■日本福祉大学

■日本福祉大学中央福祉専門学校

■日本福祉大学附属高等学校

法人本部 〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6 TEL(0569)87-2211  
http://www.n-fukushi.ac.jp



法音・平成30年3月号・No.581・平成30年3月1日発行  
発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会  
非売品／印刷・(株)一誠社